

おくちの  
相談室

【問】歯ブラシの喉突き事故について教えてください。また予防法はありますか。 (大村市、28歳女性)

【答】歯ブラシの喉突き事故とは、歯ブラシをくわえたまま転倒して喉を突いてしまう事故です。幼児の歯磨き中などによく起きています。もし受傷した場合は、口の奥に脳や大切な血管があることから、一見異常がなくても医療機関を受診することが大切です。

保育園などでは、事故防止のため決まった場所（マットの上など）に座って歯磨きしている子どもたちを見かけます。家庭での予防法に関しては「歯ブラシの選択」と「歯磨きを行う場所」について注意しておくことよいと思います。

歯ブラシの選択については、喉突き防止プレート付きの歯ブラシや、柄が柔らかい歯ブラシの利用が事故防止に有効です。ただし、大人が行う仕上げ磨き

赤司歯科医院院長

(大村市諏訪子丁目)

回答者  
坂井 安都子



喉突き事故の予防法

歯ブラシの選択と場所に注意

にも、これらの1人磨き用歯ブラシを使用すると、プレートが付いた歯ブラシでは視野が取りづらく、柄が柔らかい歯ブラシでは汚れ自体が取りにくいいため、しっかりとした清掃効果は得られません。仕上げ磨き用の歯ブラシはシンプルな物を別に備え、子どもの手の届かない場所に置きましょう。

歯ブラシをくわえたまま物につまずいたり、洗面所の踏み台や椅子から転落したりすることで喉突き事故は起こります。そのため、歯磨きを行う場所は足場が不安定な所を避け、リビングなどの床に座って行うと安全です。あおむけにもなりやすいので、そのまま仕上げ磨きができること、家族が見守りやすい場所であることもポイントです。

共働きが多い昨今、歯磨きを見守るのは祖父母や保育者の場面もあるのではないでしょう。また、兄弟同士がぶつかり喉突き事故を起こすこともありえます。箸やフォークなどの日用品も喉突き事故の原因になることがあります。より多くの方に事故について理解していただき、子どもたちの健やかな成長を見守りたいものです。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。